

ページ 2

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年4月26日 から 2013年12月7日

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

47名 (塾卒業生) 13名 (設営に携わった青年会議所メンバー)

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

山形県 山形市

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundreded dollar

\$7571 SEVEN THOUSAND FIVE HUNDRED AND SEVENTY ONE DOLLARS

Profit / Loss 利益/損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目 (もしあれば)

説明：

Who is benefited? 誰の為に?

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

山形市民、県民すべて。(広義の意味で。リーダーが育つことにより恩恵を受ける)
山形県民 116000 人山形市民 254000 人すべて、特に山形に思い入れがあり、地域活性化を望む人々。特に地域活性のために活動の機会を求めている、活動するにあたって共に活動する人を求めている人々。
山形に思い入れがあり、地域活性化を望む人々。(狭義の意味で。塾生となるべき人)
山形が活性化するために行動を起こしたいと思っている人々。
この地域をポジティブチェンジさせたいと思っている人々。
地域活性のために活動の機会を求めている人々。
活動するにあたって共に活動する人を求めている人々。
山形県に住み暮らし、地域の活性化を望んでいる人々と活動エリアに住み暮らす人々。この地域が活性するために何かできないかと思っている人々。

コメントの追加 [Wユ1]: まずはここが一番初めだと思います。OK。〇〇万人と入れればベターです。英語の原稿は例年だと 250 文字程度、かつ改行できませんので、山形市民〇〇万人、特に〇〇のような人、という風につなげてください。

コメントの追加 [K2R1]: アドバイス通り、人口を記載いたしました。

Objective 目的

説明: (例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

山形に住み暮らす地域のリーダーとなる人材を結びつけ
まちを変革する市民となるよう前向きな変化を創り出すため。

TO DEVELOP LOCAL LEADERS IN YAMAGATA WHO EAGER TO CHANGE OUR COMMUNITY INTO A BETTER PLACE AND TO LET THEM CREATE POSITIVE CHANGES.

自分たちの住み暮らす地域をより良い所にしたいと思う地域のリーダーを育て、リーダーたちが地域にポジティブチェンジをもたらすため

広く市民対象の事業を通じ、自分たちの住み暮らす地域山形をより良い所にしたいと思う地域のリーダーを育てるため。

そのリーダーたちが地域にポジティブチェンジをもたらすため。

コメントの追加 [K3]: 青字のところは第一回目に記載したところですが、そこはOKなのでしょうか？ほかの青字のところもです。

Overview 概要

説明: 必ず結果と合致しているはず

まちづくり塾の開校

- ・ 募集説明会
- ・ 開校式並びに記念講演
- ・ 第 1 講座～第 6 講座
- ・ 卒業発表

まちづくり塾の開校 (「まちづくり塾」の英語での記載は“OH! MY TOWN PROJECT”にしようと思っておりますが、まだ検討中です。)

まちづくり塾を開校し、参加者を募り、7 回のレッスンを通じて、リーダーとなる人

町の育成を図った。

① 私たちは参加者を集めるために、事業の趣旨を広く周知し参加希望者への説明会を開催しました。参加者が147名集まりました。

② 7回のレッスンのうち、はじめの3回では専門家を招聘し、講義を行いました。参加者に地域活性化の基礎をレクチャーするための貴重な機会となるため、講師の選定には、地域活性化やコミュニティ形成分野で日本での第一人者を選定しました。参加者にとっては地域活性化の基礎を学べる貴重なチャンスとなるため、地域活性化やコミュニティ形成の分野で日本でもとても有名な方たちを講師に選定した。

地方都市山形ではめったに聞くことのできない貴重な講義を参加者に提供することができました。

③ 残り4回のレッスンで、参加者たちは自ら地域の課題を見つけ、それを解決するためにワークを行いました。

■各レッスン概要

1 回目のレッスン：講義

講師は山崎亮さん。地域開発の基本の考え方と、その成功事例を紹介していただいた。講師は山崎さんはランドスケープデザイナー、コミュニティーデザイナーとして大学の非常勤講師としても有名である。

2 回目のレッスン：講師の講演

講師の講演では、木村俊昭さん。講師により、地域活性化の事例を紹介していただいた。木村さん講師は公務員でありながら、故の住む地域の活性化のために数々の実績を上げて、数々のメディアに取り上げられている。

3 回目のレッスン：講師の講演

3回目の講師は平尾清さん。平尾さんは、講師は山形芸術工科大学の教授。平尾さんにより、これからのレッスンのオリエンテーションを行った。

4 回目のレッスン：参加者でブレインストーミングし、6つの地域の課題を見つける。の洗い出し

引き続き、平尾さんより講師を受けていただいた。レッスンの中では、参加者で数々のグループを作り、地域の課題をブレインストーミングして、それぞれのグループから出てきた地域の課題を6つにカテゴリ化した。

○抽出された6つのカテゴリー

1. 農工業の問題
2. 山形の人と人のつながりの問題
3. 山形の文化の問題
4. キャリア：教育の問題

コメントの追加 [Wユ4]: もう少し簡単に。内容はOKです。

コメントの追加 [K5R4]: 赤字にて簡単にしました。

コメントの追加 [Wユ6]: 個人名は不要です。海外の人には伝わらないので。国際的に有名な政治家や有名人であれば別ですが。

コメントの追加 [K7R6]: 個人名はすべて削除しました。

コメントの追加 [Wユ8]: 洗い出し。日本語圏以外の人には理解不能だと思います。また、突然「6つ」と出てきていますが、ここに至る経緯を書いてください。

コメントの追加 [K9R8]: 洗い出しを削除し、課題を見つけるにしました。

5. 観光の問題

5. 国際の問題

5回目のレッスン：参加者で6つの課題を掘り下げる
 各グループの担当の地域の課題について討論し、なぜこの課題が出てきたのか、解決するにはどうしたらよいかを話し合った。
 6回目のレッスン：参加者が6つのグループに分かれ、解決策を検討
 5回目のレッスンと同じく、課題の解決策を話し合った。
 7回目のレッスン：公開報告会の準備
 解決策を検討し、公開報告会でのプレゼンテーションの準備を行った。

④ 私たちは6つのグループの発表の場として100人カイギ（英訳は検討中）とい
 う名の公開報告会を行った。報告会では参加者がこれまでの活動で行ってきた地域
 の課題とそれに対する解決策を披露した。教を卒業した者には卒業証書を発行
 し、一人一人に授与した。

⑤ 修了後、各チームで独立したプロジェクトを開始

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください。

- 目的がどのくらい達成できたか書いてください
- 上記の結果の想定外の結果を書いてください
- 上記の結果の確認方法を書いてください
- 検証結果を簡潔に書いてください

- ・地域を活性化したいと思う県民、市民が集まった。
- ・地域のリーダーとなる人材が集まった
- 地域の活性化に期待を持つことができた。
- ・地域で活躍する人と人を結びつける事ができた。

↑著名な講師を講演に呼び、その後もレッスンの講師をしてもらう事によって、参加者たちとの絆が深まった。フェイスブックのグループトークなどを立ち上げたこと
 からわかる。

参加者として応募してきたのは、普段から地域の事を考え、地域のためになることは何か？と考える元々意識の高い人々が多く、この繋がった段階で各自がそれぞれの地域に対する思いを抱いていた。参加者は地域の事を考え、地域のために何ができるのかと考える意志の高い人々が多かった。そんな彼らがレッスンを通じ、共通認識として同じ課題を共有する事によって、バラバラだった彼らのベクトルが一つの方向性を持つようになった。毎回のレッスンの参加率が90%以上と非常に高く、元々地域に対する意識の高い人々であったため、彼らの情熱が大きいプラスなエネルギー

コメントの追加 [Wユ10]: 6つ目以外はすべて、〇〇に気づいた。〇〇が出てきた。で終わってます。重要なのはそこから彼らに何をもたらして、どんな効果を与えたのかです。1~5もそれを記載してくださいね。

コメントの追加 [Wユ11]: ネットでグループを立ち上げた程度では残念ながら絆を深めたとは言えないのでは？この事業に参加したからこそ起こった変化や行動はありませんか？

コメントの追加 [K12R11]: 削除しました。

一となり、課題解決のためのプロジェクトのために行動を起こそうという思いがそれぞれに芽生え、参加者それぞれにポジティブチェンジをもたらした。

事業を立ち上げた私たちも予想していなかった出来事が起きた。

なんと彼らは、このまちづくり塾が終了しても、引き続き同じメンバーでそれぞれ独立して地域のためにプロジェクトを立ち上げ、今後も運営していく方針を発表した。これは塾を通して地域のリーダーとしての自覚が芽生えた証拠である。以下に彼らが立ち上げたプロジェクトを示す。

塾終了後の各チームの活動

6つのチームのうち、3つのチームが独立して活動を行っている。

<キャリア教育チーム>

① まちづくり塾の活動が山形県の行政にも評価された。山形県が毎年主催している山形県すべての高校生のNEW LEADER（次年度生徒会長となる生徒たちなど）を対象としている合同にて、2014年1月にキャリア育成チームが「語り場」というイベントを実施した。

県内在住の高校生100名を対象に、山形で働いている先輩の話を聞き、山形で働く事の素晴らしさを伝えた。アンケート結果によると、参加した高校生は山形でぜひ就職したいという回答が80%と、とても高かったことにより、青少年にポジティブチェンジをもたらした。

<山形の人チーム>

2014年1月に山形の人チームが「語るbar」（英訳はこれから考えます）というイベントを実施。

地域に対する思いや考えについて、ゲストを交え、世代を超えて話し合う場が「語るbar（場）」。

まちづくり塾の会員拡大。もっとまちづくりに参加する人を増やしたい」という思いから、自主的に会員拡大を行った。参加者は42名。42名のうち、10名が新規拡大会員として、既存メンバーと共にまちづくりをしていきたいと希望があり、チームの参加者たちは、**新たな地域のリーダーとなるべきポテンシャルメンバーと出会う事ができた。**

<観光チーム>

① 山形検定を5月に実施予定。

山形市民自身がより山形市を深く知り、その歴史、産業、文化、観光、食などを観光客の方に正しく伝えられるようになることを目的として、山形検定を2014年5

コメントの追加 [Wユ13]: ここも良いのですが、出だしの文章と、最後の文章が比較的長くなっています。もう少し短くできませんか？

コメントの追加 [K14R13]: 短くしたものを赤字で記載しています。

コメントの追加 [Wユ15]: 不要

コメントの追加 [K16R15]: 削除しました。

コメントの追加 [Wユ17]: この後は？

コメントの追加 [K18R17]: 後を付け加えました。

月1日に実施予定。公益社団法人山形青年会議所、山形商工会議所、山形市、一般社団法人山形市観光協会がスポンサーとなっている。
こういうイベントは今までなかったが、塾の参加者が自らこのようなイベントを企画、実行する事はまさに地域のリーダーとなる人材が育っているといえる。

- ・地域活性化の基礎を講師から学び、地域のリーダー意識がさらに高まった。
 - ・一般の来場者にも地域が抱える課題を知ってもらえ、各プロジェクトへの参加者が増えた。
 - ・塾生の絆が深まった。
 - ・アンケートを実施し、役90%の塾生が意識の高い人と出会えてよかったと回答。
 - ・アンケートを実施し、約77%の塾生が参加して大変よかったと回答。
 - ・アンケートを実施し、約83%の塾生がまちづくりへの意識が高まったと回答。
 - ・塾生自らが独立して事業を実施していくとの表明があった。
- 実際、2014年1月にキャリア育成チームが「語り場」というイベントを実施。高校生100名を対象に、山形で働いている先輩の話などを聞き、山形で働くって悪くないなどと思ってもらう企画。
- 2014年5月に観光チームが「山形検定」を実施予定。山形の魅力や知識知り、それらを伝えられるようになるという事が目的。
- ・自立したまちづくり運動の基盤ができた。

Actions Taken 行動

説明:

2013年4月26日(金) 募集説明会を開催参加者105名
これから行われるまちづくり塾の概要を説明した。

2013年5月25日(土) 第1回レッスン 参加者207名(一般公開 うち塾生52名)
講師による講義を行い、地域開発の基礎知識を学んだ。

2013年5月31日(金) 第2回レッスン 参加者は102名(一般公開 うち塾生59名)
講師による講義を行い、今まで行ってきた地域活性化のための成功事例について学んだ。

2013年7月5日(金) 第3回レッスン 参加者は49名(すべて塾生)
講師による講義を行い、今後のオリエンテーションを行った。

2013年8月30日(金) 第4回レッスン 参加者は36名(すべて塾生)
講師がコースリーダーとなり、参加者全員で地域の課題をブレインストーミング。

2013年29月13日(金) 第5回レッスン 参加者は30名(すべて塾生)
講師がコースリーダーとなり、6つの課題を掘り下げた。

コメントの追加 [Wユ19]: 増えたのであれば、どのくらいからどのくらいなのかを数値で示してください。

コメントの追加 [K20R19]: 削除

コメントの追加 [Wユ21]: どう訳しますか?

コメントの追加 [K22R21]: 削除

コメントの追加 [Wユ23]: 実施した後どうなる予定ですか?実施して点数が良かった悪かったというだけでは結果として不足です。これが行政から認められ、アンバサダーのようになれる制度を確立したとか。

コメントの追加 [K24R23]: 削除

コメントの追加 [Wユ25]: 目的であれば項目が別です。どのように変化をもたらしたかや、どんな影響を与えた、それはこういうところから検証できる。となるのが結果。

コメントの追加 [K26R25]: 削除

コメントの追加 [Wユ27]: 概要のところにあったものを再度記載してもOKです。特に概要の後半部分は詳細の説明になっているので、こっち書いた方が良いでしょう。

コメントの追加 [K28R27]:

コメントの追加 [Wユ29]: 2013年は入れて下さい。

コメントの追加 [Wユ30]: 不要

コメントの追加 [Wユ31]: 不要

コメントの追加 [Wユ32]: 不要、以下同様です。

2013年10月11日（金）第6回レッスン 参加者は29名（すべて塾生）

講師がコースリーダーとなり、課題の解決策を検討した。

・6つのグループに分け、チームを作り、それぞれのチームでプロジェクトを立ち上げた

1 農工商チーム

彼らは、地域の農工商において私たちは、後継者不足、発信不足、プロデュース不足という課題に気付いた。そのためには、まず様々なつながりを作る事が大切だと考え、各種イベントを通じPRの場を積極的に設ける事を提案した。

2 山形の人チーム

誰でも、いつでも参加できる「開かれた場」、山形を面白くする人と人が「つながる場」が無い事に気付いた。

彼らは、月一回程度誰でもいつからでも参加できる会議を設けたり、また、「達人」を探しその人たちとの交流プログラムを作ったり、人材をデータベース化して可視化したり等の、人と人がつながることのできる手法を提供した。

3 文化チーム

山形は若者にとって魅力的ではない町だということに気付いた。

高校生が卒業する時に山形に残留する確率が47都道府県のうち38位だというデータから、若者の人口流出に歯止めをかける事が最重要と考えた。そこで彼らは、若者に特化したポジティブなコミュニティの創設を提言した。

4 国際交流チーム

山形県の在留外国人の比率は人口の0.5%しかおらず、47都道府県の中32位というデータがある。外国人旅行者は一年間で約48000人であり、震災前の半分の数字まで落ち込んでいる。このようなデータから、彼らは山形在住の外国人が少ない、海外からの旅行者が少ないという課題に気付いた。

その対策として、国際交流を使用とする市民を増やすこと、また外国人訪問客に山形の魅力を外国語で語れる地元のプロを作ること、そして、海外の視点を学ぶために在留外国人との交流会を定期開催すること等の手法を提供した。

5 キャリア教育チーム

彼らは、山形で就職する若者が少ない課題に気付いた。

これから就職活動をする高校生をターゲットとし、地元で仕事をしている魅力的なリーダーから、体験談や地元で働いてよかったことを話してもらい、

コメントの追加 [Wユ33]: OKですが、もう少しだけ端的に。できれば一文を短く。

コメントの追加 [K34R33]: 一文一文を短くしました。

コメントの追加 [Wユ35]: ??日本語で、かつJ C 的にはぼんやりとイメージできますが、海外の人が読んだらわかりますかね？

コメントの追加 [K36R35]: 削除し、交流会にしました。

自分自身の未来を考える機会を与えるプロジェクトを提案した。

6 観光チーム

彼らは、2014年5月に震災復興記念行事である、東北六魂祭という大きなお祭りが山形で開催されること、JCI ASPAC YAMAGATA、そして山形デスティネーションキャンペーンという、山形県で観光客をたくさん呼び込もうという観光キャンペーンが始まるという事という、人が集まるまたとない機会があるという事で、山形にとって観光の大きなチャンスであり、やまがたのファン作りに最適な機会だと気付いた。このチャンスを活かすべく、山形に住まう人が自分の地域の魅力を発信できるように、山形の知識をつけようというプロジェクトを発信した。

2013年11月15日（金）第7回レッスン 参加者は30名（すべて塾生）
講師がコースリーダーとなり、解決策を検討し、公開報告会でのプレゼンテーションの準備を行った。

2013年12月7日（土）公開報告会（100にんカイギ）（100人カイギ）参加者は103名（一般公開 うち塾生34名）100人カイギという名の報告会です。英語での表記は検討中です。

6つのチームがそれぞれの課題のためのプロジェクトを発表。

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

・地域のリーダーとなる人々を結びつけることができ、その結果、地域の課題を率先して解決し、地域をより良いものにしようとする人材が育った。また、その人たちが活動できるコミュニティができた。

・地域活性化のために何かしたい人が気軽に参加できるポジティブコミュニティができ、地域の人にとって地域活性化へ一歩踏み出すハードルが下がった。

→今後のまちづくり塾のキックオフとなる新たなステージを準備し、新しい人々を街づくりに参加する機会を提供した。

コメントの追加 [Wユ37]: ここも上記同様です。内容はOK、文章を簡潔に。

コメントの追加 [K38R37]: 完結にしたつもりですか・・・。

コメントの追加 [Wユ39]: なぜチャンスだときびきりましたか？〇〇によって気づいたという主語がありません。

コメントの追加 [K40R39]: 削除しました。

コメントの追加 [Wユ41]: 最初の考察以外はすべてLOMの報告議案の反省部分のみになっています。ここで必要とされるのは、この事業を通じて地域社会がどのように変化したのか、やどんな機会を提供し、それによってどんな影響があったのか？などです。LOMの引継ぎに記載される反省点は不要です。

コメントの追加 [Wユ42]: 日本語ではわかりませんが、外国の方が読んだらなんのこっちゃわからない文章だと思います。日本語の段階から平易な表現に直してください。

コメントの追加 [K43R42]: 削除

コメントの追加 [Wユ44]: 誰を指していますか？具体的に記載してください。

コメントの追加 [K45R44]: 削除

・「結果」欄で前述した、塾生自らが立ち上げた事業が既に始動しており、これまでに
かった視点で地域活性化につながっている。

- ・達成できなかったところは、メンバーの参加率の低さ。
- ・一部の日程で、公式スケジュールとの日程調整が合わなかった事。
- ・メンバーへの周知不足。
- ・単年度での事業運営では効果を出しにくい。
- ・翌年度の事業実施へのフォローが困難。
- ・多年度に渡るような事業計画が必要。

ページ3

Objectives, Planning, Finance and Execution

目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

広く市民対象の事業を通じ、自分たちの住み暮らす地域山形をより良い所にした
と思う地域のリーダーを育てるため。
そのリーダーたちが地域にポジティブチェンジをもたらすため。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのようにJCIの活動計画と合っていますか？

このプログラムは市民に、個人的な成長をカブける機会を提供した。
地域社会の市民は、このプログラムを受けることで、地域社会の前向きな変化のた
めに、考え、行動した。
このプログラムは、力をつけた市民が地域社会の成長に貢献する個人の社会的責任を
拡大した。

コメントの追加 [Wユ46]: 具体的に PLAN OF ACTION のどこに合致しているかを具体的に記載して OK です。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?
予算は事業の財務管理の為に効果的なガイドになりましたか？

このプログラムの予算の内訳は以下の通りである。
講師料（3名分）：74%
会場代：14%
その他：12%
このプログラムによる実施の支出は、予算通りに行われた。
我々は、このプログラムの会場として、無料若しくは低額で市民が利用できる公共施設を使った。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業はJCIのミッションとヴィジョンを推進しましたか？

我々は、アクティブシチズンを作り出し、若者に前向きな変化を作り出す力を与えるためのプログラム内容を決定する上で重要であると考えた部分は、以下の3点である。

1. 我々が、このプログラムに興味のある市民に、参加を決意させるための魅力的な

導入部分を提供すること。

2. プログラム継続中、参加者がプログラム終了後に前向きに変化していることを

予感できること。

3. 参加者がプログラムによって得た能力で、このプログラム終了後のストーリー /

未来を自分で作り出せることに気づかせること

我々のプログラムは、地域社会の市民に前向きな変化を作り出す力を与え、地域社会の市民をアクティブシチズンにした。

※画像4つ必要

ページ4

Membership Participation 会員の参加率

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは何人？

9 MEMBERS

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in

コメントの追加 [Wユ47]: 簡潔に書くのであれば、

【JCI ミッションの推進】

本プログラムは・・・

1、〇〇

2、〇〇

【JCI ビジョンの推進】

上記同様

コメントの追加 [Wユ48]: 予感は検証できていると

は言えないので表現は変えてください。

コメントの追加 [Wユ49]: 本当にこれだけですか？

スタッフのみの記載？委員会メンバー全員ですか？

コメントの追加 [O50R49]: 委員会のメンバー中、

この事業にかかわったメンバーの数を議案から拾ってきました。

this program?

LOM メンバーの参加率は？

23%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

プログラムの内容の決定 (5名)

講師の選定 (3名)

セッションごとの課題の設定 (3名)

セッションごとの進み具合及び結果の測定 (2名)

セッション会場の選定 (2名)

予算の管理 (1名)

コメントの追加 [Wユ51]: それぞれに対して (〇名) と付けるとわかりやすくなります。

※画像4つ必要

ページ5

Skills Developed 習得された技術・能力

What skills were developed in this program?

どんな技術・能力が、このプログラムで習得されましたか？

1. 地域社会の問題点を分析し、課題を**具体的に**する能力
2. 課題を解決するためにチームを作り、**マネジメント**運営する能力
3. **SOLUTION PROVIDER** としての課題を具体的な解決するための方法を作り出す能力
4. 地域社会の課題と解決策を市民へ**プレゼンテーション**提示する能力
5. 課題の解決のために地域社会の市民を巻き込む能力

コメントの追加 [Wユ52]: 課題を具体的にする能力、の方が訳しやすいです。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

このプロジェクトで地域社会の市民46人がアクティブシチズンとなった。
プロジェクト終了後、**アクティブシチズンたちの行動により、地域社会に以下のインパクトを与えた。**

<キャリア教育チーム>

まちづくり塾の活動が山形県の行政にも評価された。

アクティブシチズンたちは、高校生の**NEW LEADER 100名**に**ポジティブチェンジ**をもたらした。

アクティブシチズン達が、山形県が毎年主催している高校生の**NEW LEADER** ミーティングで、働く事の素晴らしさを伝えるプログラムを実施した。

高校生の**NEW LEADER 100名**が参加した。

参加者のアンケート結果によると、将来、地域社会のために行動したいという回答が**80%**と、とても高かった。

<観光チーム>

アクティブシチズンたちは、山形市、山形商工会議所、一般社団法人山形市観光協会がスポンサーとなる事業を開発した。

地域社会の市民**300名**が、地域社会に関する正しい知識とそれを伝える能力を身につけるためのプログラムを**2014年5月11日**に実施予定。

コメントの追加 [Wユ53]: 2と3、4と5はもう少し明確な違いを打ち出してください。非常に似通った内容が繰り返されています。LOMの議案書はOKでもアワードではもう少し読み手にわかりやすく具体的な方が良いでしょう。

コメントの追加 [Wユ54]: 何万人もの人々に46人が起こした行動が直接前向きに変化することにつながりますか？都合よくポジティブチェンジを訳さずにもう少し丁寧に書いてください。たとえば、46人が山形県内（市内）いくつある地域のいくつに広がり、それぞれの地域で行動を始めた。とか。

コメントの追加 [O55R54]: 記載内容を変えました。

※画像4つ必要

Impact on Participants 参加者への影響

What was the intended impact on the participants?

参加者への意図された影響は、何でしたか？

このプログラムは、参加者に次のインパクトを与えるために行われた。

1. 参加者が地域社会を前向きに変化させるための能力を身につけること。
2. 参加者がリーダーとなり、自らが地域社会のために行動を起こすこと。

Describe the actual impact on the participants.

参加者への実際の影響を記述してください。

参加者が、プログラム終了後に、地域社会及び市民にポジティブチェンジを与えるため、以下のプロジェクトを自ら行動したの努力で行った。

1. 山形県が毎年主催している山形県すべての高校生の NEW LEADER を対象としているセッションで、2014年1月にキャリア育成チームが「語り場」というプロジェクトを実施した。

2. 地域社会を前向きに変化させるため、ゲストを交え世代を超えて話し合うミーティングを開催した。また、地域社会を変える仲間をもっと増やすために、自主的に会員拡大を行い、仲間を42名増やした。

3. 山形市、山形商工会議所、一般社団法人山形市観光協会がスポンサーとなる事業

コメントの追加 [Wユ56]: 自ら行動した。

を開発した。

地域社会の市民300名が、地域社会への正しい知識とそれを伝える能力を身につけるためのプログラムを2014年5月11日に実施予定。

地域社会の歴史、産業、文化、観光、食などを正しく知るためのプロジェクト

以上の結果から、このプログラムは、地域のリーダーを育て、実行する能力を与えたと考える。

※画像4つ必要

コメントの追加 [Wユ57]: が、どうなりましたか？

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

長期的には、我々のプログラムが、アクティブシチズンを増やし続け、地域社会の市民の多くが地域社会が前向きな変化をするために、常に行動し続けることが予想される。

なぜならば、

1. このプログラムの参加者が、自ら地域社会のために行動できる市民の能力を開発する。

コメントの追加 [Wユ58]: これが、文の一番最初だと良いと思います。結論を先に、そして、本事業のもたらした効果によって、地域に継続的な発展が期待できる。

理由は下記の通り。みたいにして、以下箇条書きにした方が良いでしょう。

2. アクティブシチズンとなった市民が、地域社会のために行動をおこす。
3. 2の行動により、他の市民へインパクトを与える。
4. 3でインパクトを受けた市民がアクティブシチズンとなる。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

『我々JCIメンバーは、1：多くの社会の課題を共有する方法、2：その課題を解決するための能力開発プログラム作成方法、を作る必要がある。』

地域社会の解決すべき課題は、他の地域と一緒に行動することで、容易に解決できる可能性がある。

地域社会の市民は、その地域社会と同様に地域社会の外の課題を知る必要がある。

JCIは、若者の LEADING GLOBAL NETWORK であり、多くの社会の課題と一緒に解決するための SOLUTION PROVIDER になることができる。

GLOBAL SOLUTION PROVIDER として我々は、以下のことをする必要がある。

1. グローバルネットワークを利用して、他の地域での新しい行動を知ること。
2. 地域社会の市民へ新しい行動についての新たなプログラムを提供すること。

我々が、継続的に新たなプログラムを提供することによって、地域社会の市民へもっとインパクトを与えることができると考える。

※画像4つ必要

コメントの追加 [Wユ59]: これも前の長期的云々と同様です。結論を先に示して、その後に理由を書いた方が読み手にはわかりやすいです。

コメントの追加 [O60R59]: 順序をかえました。

コメントの追加 [Wユ61]: この文章は理解できませんが、プロジェクトの改善につなげるのは強引な気がします。かつ、〇〇できる、ではなく、「改善策」ですので、〇〇する必要がある。が適切かと。基本的にここは不要だと思います。

コメントの追加 [O62R61]: 削除しました。

コメントの追加 [Wユ63]: こも書き方の問題。